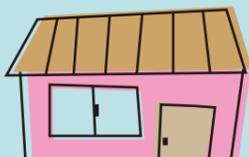
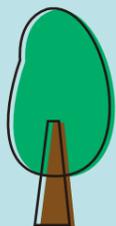


「一緒に行かんまいけ！」 参加者を増やす魔法の言葉



地元企業やあいの風とやま鉄道、荒俣海岸、黒部川などさまざま地域資源に囲まれた村椿地区。豊かな環境の中で行われる地区の行事には、男性の参加率が高いという特徴があります。今回の特集ではその秘密に迫ります。

町内を中心に

村椿地区を引っ張る大上戸久雄自治振興会長は、町内単位の活動を大切に考えています。「村椿といってもさまざま。それぞれの町内には強みもあるし、弱みもあるんです。それぞれが活動しやすい形は、自分たちで考えてやってみる方が一番いいと思うんですね。振興会としては、町内の自主性を尊重して、ある程度任せているんです」と話します。

例えば吉田町内では行事があると、同世代の仲間同士で誘い合って参加しています。5年ほど前の男性参加者は5〜6人でしたが、今では10人以上になっているそうです。また、民生委員児童委員との協力体制がしっかり整った中で行事が行われています。

出島町内では、他の町内よりも野菜づくりをしている人が多く、畑仕事中に誘い合って一緒に出かける話をしていることもあり、敬老会の参加者が多いそうです。また、地区の老人会で行われる勉強会では、出島町内の参加者が特に多く、何事にも積極的な姿勢が見られます。

荒俣町内は、今年4月から毎週土曜日に荒俣公民館で支え合い活動を行っています。40名の参加者が老人会と村田洋子地域支え合い推進員と一緒に、テンポよく健康体操をしています。このうち男性参加者は8名で、老人会長の前田喜芳さんは、「3ヶ月経っても皆さんが参加し続けているということは、一人ひとり体操の効果が出ているのだと思います」と、支え合い活動に対する手ご

たえを感じています。そして町内の行事で住民が集まる場でも体操を取り入れ、「とりあえずやってみよう」という老人会の前向きな姿勢が感じられました。

また、「近所同士での安否確認ができており、仲良しの高齢者が2人そろって来てくれるたびに私も安心できます」と村田さんは話します。

町内でのつながりが強いところは区民運動会でもその結束力が発揮されるようで、時には競い合うことが地域の活性化につながると大上戸会長は考えています。

一緒に行かんまいけ

それぞれの町内が特性を活かした取り組みをしています。どの町内にも共通していることは、働き者の男性が多く、1つのことに真剣になるといふことです。

介護予防教室では、その特徴がはつきりわかります。黒部市社会福祉協議会の小森亜希子運動指導員によると、市内の各町内で行う介護予防教室の男性参加者は1人〜3人程度のところが多いそうですが、村椿地区はどの町内でも参加者の半分が男性で、「教室を始めた頃から男性の参加者が多く、一番前に座って楽しんで体操してくださる姿がとても印象的です」と話します。

男性が地区の行事に積極的に参加するのは、各町内の役員が「やらなければいけない」と義務

化せず、同世代の人たちに「行かんまいけ」と上手に誘い、近所同士で誘い合う関係が広がっているからです。



笑顔が印象的な村田洋子地域支え合い推進員



男性も元気に楽しく参加しています

「一緒に行かんまいけ!」

地域一体で取り組む

毎年行われている荒浜海岸の清掃には住民や企業のボランティアなど約500人が集まっています。今年も7月2日(日)に行われ、多くの方が参加しました。小さな子どもが朝早くから家族と一緒に参加し、「ゴミ拾いを手伝っていたり、水の少年団が水の大切さを学びながら作業している様子が見られました。また、ダンブカーを使って、大きな流木を収集し、安心して裸足で砂浜を歩けるよう作業に取り組む地元企業も多数見られました。



たくさんの方が海岸の清掃に参加しました

大上戸会長は毎年、参加者が一生懸命に清掃に取り組む様子を見て、地区が一体となった「オール村椿」を実感し、誇りに感じています。

若い世代にもバトンをつなぐ

男性参加者が多いという強みを持つ一方で、島厚子まちづくり推進員は、「若い参加者が少なくなっていることが気がかりです。どうしても増やせるのかいつも考えています」と、若い世代との交流が減ってきていることに危機感を抱いていました。大上戸会長や島まちづくり推進員は、若い世代が地区活動に関わるきっかけを考えて、さまざまな取り組みを行ってきました。例えば、公民館祭りでは、7カ月〜1歳半からいの赤ちゃんが参加した「ハイハイレース」が行われました。赤ちゃんが参加すると、両親や祖父母も応援に来てくれるため、大盛況だったそうです。

大上戸会長は「若い人がいないわけではないんです。今いる人たちにまず参加していただくことが大事ですね。若い人にも『一緒に行かんまいけ』を広げていきたいですね」と話し、若い人や子どもたちが集まる事業の計画立案に向けて試行錯誤を繰り返しています。

また、役員の任期を決めて年の近い人同士で代わっていく仕組みを整えば、若い世代を巻き込むことができますと大上戸会長は考えています。世代を越えて住民と一緒に地域を良くしていくこととする取り組みが各町内で行われている村椿地区。子どもから高齢者、企業、消防団など地元のボランティアができる範囲で協力してお

り、各町内の自主性と特性を活かし、柔軟に活動できる場があること、「一緒に行かんまいけ」と声をかけあっていることが参加者の増加につながっているようです。

今回の取材では、日常のちよつとした声かけの積み重ねで一人ひとりの生活が充実したものになり、行事や活動に参加する人々の満足度が高くなるほど地域活動がより活発になっていくことがわかりました。地区の強みや特性を活かしたまちづくりの推進によって、黒部市全体が誰もが住みやすいまちとしての魅力を高めていきたいものです。



お互いに声を掛け合い、若い方にも参加してもらおうのが目標と話す大上戸会長

ふくしスマイルワーカー

福祉に携わる人のお仕事拝見!

スマイル Vol.43



村椿保育所
保育士

ひらさき ももこ
平崎 桃子さん(21)

好きなこと ソフトボール



周りの様子を見ながら積極的に動くようにしています

保育士を目指したきっかけは?

小さい頃にお世話になった先生に憧れて保育士になりたいと思いました。私の母も保育士になりました。夢が叶った時は母も喜んでくれました。

普段の仕事で心掛けていること、やりがいがありますか?

3人の保育士で17人の子どものうちのお世話をしています。2歳児は一人遊びから複数での遊びを覚え始める時期なので、安全に配慮しながら子どもたちが仲良く遊べるよう心掛けています。また、子どもたちができることが増えた時に、成長を見ることができてやりがいを感じます。

写真レポート



6月9日(金) 田家保育所

子どもたちと思い出づくり

田家地区で一人暮らし高齢者と園児との交流会が行われました。高齢者は園児から手作りメダルと肩たたきのプレゼントを貰い大喜びです。



5月12日(金) 黒部市福祉センター

ポールウォーキングで汗を流しました!

福祉センターから国際文化センターコラーレまで10名で歩きました。参加者同士で楽しく会話をしながら体力づくりに励みました。

民生委員児童委員と心配ごと相談

行政相談員と行政相談 予約不要

黒部市福祉センター(金屋464-1)
8月 8日(火) 13:30~15:30
黒部市立中央公民館(宇奈月町浦山2100-2)
8月10日(木) 13:30~15:30

弁護士と法律相談 予約受付/8月1日より

黒部市福祉センター(金屋464-1)
8月22日(火) 13:30~15:30
同じ相談内容の場合は、
お一人様につき3回までとさせていただきます。

富山県東部生活自立支援センター

生活自立支援相談 予約受付/8月1日より

黒部市福祉センター(金屋464-1)
8月7日(月) 10:00~11:30

8月

5日(土) カラオケうた仲間 10:30~
6日(日) はまなすカラオケ&踊り 10:30~
26日(土) YKK社友会歌謡同好会 10:30~
27日(日) ICC生地カルチャークラブ演芸発表会 10:30~
休館日 毎週月曜日(7日・14日・21日・28日)
13日~16日はお盆休みです

9月

2日(土) 魚津カラオケ友好会 10:30~
9日(土) こぶしカラオケ友好会 10:30~
13日(水) やまびこ会カラオケ発表会 10:30~
16日(土) 日本海歌謡研究会「歌と踊りの祭典」 10:30~
19日(火) 松の会くろべ 民踊 11:00~
26日(火) ことぶきの会踊りサークル発表会 10:30~
30日(土) 歌謡パラダイス ふれあいショウ 10:30~

休館日 毎週月曜日(4日・11日・18日・25日)
24日(日)は秋分の日の振替です
※3日は、敬老会のため風呂のみご利用いただけます。

黒部市福祉センター [利用時間] 8:30~16:30
[入浴時間] 10:00~16:00

※8月の毎週金曜日は、18:00まで延長

今月の相談日

催し物と休館日のご案内

お知らせ

24時間テレビ 募金活動ボランティア募集

24時間テレビ40「愛は地球を救う」の募金活動に参加してみませんか?

平成29年 8月27日(日)

[時間] ①10:00~11:00 ②11:00~12:00
③12:00~13:00

[場所] マックスバリュ黒部コラーレ前店
黒部ショッピングセンターメルシー

[対象] 小学生以上先着10名(小学生は親子で参加)
※参加者には24時間テレビのTシャツをお渡しします。

お申し込み
くろべボランティアセンター TEL.54-1082

とやま成年後見人協会の無料相談会

NPO法人 とやま成年後見人協会は、成年後見・遺言相続の相談に応じます。お気軽にご相談ください。

平成29年 8月20日(日)

[時間] 10:00~15:00
[場所] 黒部市福祉センター(黒部市金屋464-1)
[相談内容]成年後見・遺言相続

お問い合わせ NPO法人 とやま成年後見人協会
富山市五福9区3995番地 TEL:076-433-2348

平成29年6月13日付で
黒部市社会福祉協議会の
役員改選がありました
よろしくお願いたします

今月のクラブ

囲碁・将棋クラブ
金曜日(4日・11日・18日・25日)
元気カラオケクラブ
木曜日(10日・24日)
手芸部 木曜日(17日)

誕生日のお祝いに
福祉センターの入浴券はいかがですか?
11枚綴り 3,000円

活動レポート1

手話サークルトロッコの会

「趣味講座」で日本の文化に触れる

手話サークルトロッコの会の趣味講座が行われました。トロッコの会は、手話に慣れることや手話を楽しむことを目的としている団体で、木曜日の夜に黒部市立中央公民館で活動しています。また、年に3~4回ほど様々なテーマで趣味講座を開催しており、今回は煎茶をたしなみました。講師に公益財団法人 煎茶道「方円流」の濱屋裕園先生を招いて、煎茶の作法を教えてもらいながら、お菓子と煎茶をいただきました。参加者は普段と違う雰囲気緊張しながらも、興味津々で、教養を高めることができたようです。



緊張しながらも、お茶を楽しみました



活動レポート2

黒部商工会議所青年部(YEG)

地域貢献について考える

黒部商工会議所青年部(YEG)が地域貢献研修を開催しました。黒部市社会福祉協議会から黒部市の現状やくろべネットの活動、実際に市社協とYEGが連携した事例についての説明がありました。また、グループワークでは「YEGとしてできること」を話し合い、高齢者の買い物支援や除雪の手伝いなど日々の生活からYEGメンバーが気になっている地域の課題解決に向けた意見や、様々な職種がつながり、市社協とも連携しながら情報を共有していくといった意見が出されました。



高齢者の支援の方法など話し合いました



「一緒にいかんまいけ！」
参加者を増やす魔法の言葉



大上戸久雄さん



2017
8月 Vol.137

【編集・発行】 社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会 平成29年8月1日発行

うなづき

【参加費】150円(入館料のみ)



介護予防通所事業 生き生き倶楽部

黒部市宇奈月老人福祉センターにて

【時間】9:30~15:00 【対象】65歳以上の方

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
		健康体操B		健康体操B	自力整体	
6	7	8	9	10	11	12
	おやつ作り	おやつ作り	おやつ作り	おやつ作り	山の日	
13	14	15	16	17	18	19
				健康体操C	健康体操C	
20	21	22	23	24	25	26
	健康体操A	レクリエーション		レクリエーション	健康体操C	
27	28	29	30	31	9/1	2
	自力整体	健康体操B		自力整体	レクリエーション	

時間/10:00~11:00

※■は休館日

健康体操A 石田みどり先生 健康体操B 村田あゆみ先生
健康体操C 岡崎 明子先生 自力整体 稲田 清美先生

くろべ

【参加費】300円(入館料のみ)



介護予防のための 元気はつらつ体操教室

黒部市福祉センターにて

【時間】10:00~11:00 【対象】65歳以上の方

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
		健康体操A	健康体操A	健康体操A	健康体操A	
6	7	8	9	10	11	12
		健康体操B	健康体操B	自力整体	山の日	
13	14	15	16	17	18	19
					健康体操C	
20	21	22	23	24	25	26
		自力整体	健康体操C	健康体操B	自力整体	
27	28	29	30	31	9/1	2
		健康体操C	自力整体	健康体操C		

時間/10:00~

※■は休館日

健康体操A 泉 一郎先生 健康体操B 岡崎 明子先生
健康体操C 樋口 瞬先生 自力整体 稲田 清美先生

読んで楽しく



健康 ミニコラム 熱中症の初期サイン 「かくれ脱水」はすぐ対応を!

かくれ脱水のサイン

「べたつき」…首筋などがべたつく(目には見えない汗)
「だるさ」…身体がだるい、元気がない、食欲がない
「ふらつき」…めまいや立ちくらみ、身体がふらつく
「いたみ」…こむら返り、足がつる、頭痛がする

対応 サインがみられたら、スポーツドリンクを少しずつこまめに飲みましょう。改善しない場合は早めに医療機関を受診しましょう。

予防 こまめな水分補給・栄養・休養

お問い合わせは黒部市宇奈月老人福祉センター
TEL. (0765) 65-1820 担当:山内まで



今月の表紙

家族そろって前庭で水遊び。
子どもの頃にプールや水鉄砲で遊んでいたことを思い出しました。納涼祭やキャンプ、旅行などイベントがたくさんありますが、皆さんはどんなお盆を過ごされますか。体調に気を付けて、素敵な夏を過ごしましょう。

編集 橋本

福祉・ボランティアに関することは

本所 黒部市福祉センター内

〒938-0022 黒部市金屋464-1 TEL.(0765)54-1082(代表) FAX.(0765)52-2797
TEL.(0765)57-1089(ケアセンター・ホームヘルプセンター) Eメール kurobesw@ma.mrr.jp



黒部市社会福祉協議会

http://www.kurobesw.com/

宇奈月支所・黒部市東部地域包括支援センター 黒部市宇奈月老人福祉センター内

〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山2111 TEL.(0765)65-1165 FAX.(0765)65-9533
Eメール tobu-houkatsu@kurobesw.jp



ちょっと情報

【黒部市の人口】41,817人 【65歳以上の人口】12,601人 高齢化率 30.1% H29.6.30 現在



この広報誌は一部共同募金の助成金により発行されています。